

製品名: Rab10 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02504**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.67mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 23 kDa; Observed MW: 23 kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB10
別名	RAB10
遺伝子 ID	10890
SwissProt ID	P61026
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

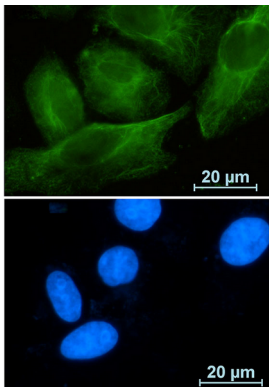
小さな GTPase Rab は、輸送小胞の形成から膜との融合まで、細胞内膜輸送の重要な制御因子です。Rab は、不活性な GDP 結合型と

活性な GTP 結合型の間を循環します。活性型は、小胞の形成、移動、係留および融合を直接担うさまざまな下流エフェクターのセットを膜にリクルートできます。Rab は主に、ゴルジ体から細胞膜へのタンパク質の生合成輸送に関与しています。たとえば、SLC2A4/GLUT4 グルコーストランスポーターに富む小胞の細胞膜への送達を制御します。同時に、Rab は Toll 様受容体である TLR4 の細胞膜への輸送を制御しているため、自然免疫応答に重要である可能性があります。また、極性ニューロンおよび上皮細胞内での細胞膜への非対称タンパク質輸送に特定の役割を果たしています。ニューロンでは、軸索細胞膜への小胞輸送を制御することで軸索形成に関与し、上皮細胞ではゴルジ体から基底外側膜への輸送を制御します。さらに、基底外側膜のリサイクリング経路やファゴソームの成熟にも関与している可能性があります。PubMed:23263280 によると、小胞体の動態と形態に関与し、微小管に沿った管状構造の形成や小管の融合を制御する可能性があります。

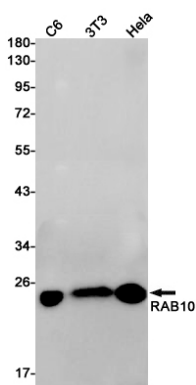
研究分野

シグナル伝達

画像データ



Rab10 抗体と DAPI (青) を使用した A549 の Rab10 (緑) の免疫細胞化学分析。



RAB10 抗体を使用した C6、3T3、HeLa 溶解物中の RAB10 のウェスタン ブロット分析。